

知る！よむ！まなぶ！
こどもも大人も楽しめる

Shibuya
Midori Times

創刊特別号
2025年 春号

シブヤ ミドリ タイムス



知りたい! シジュウカラのひみつ

シブヤのまちの[ミライ]と[シジュウカラ]のふしぎな関係

シジュウカラってどんな鳥?

シジュウカラは、小さくてかわいい野鳥だ。白いほっぺたで、胸からお腹にかけて黒いネクタイ模様がある。大きさはスズメくらいで、森や公園、庭などでよく見かけるはず。シジュウカラはとても賢くて、木の穴や鳥箱を巣にして卵を産む。食べ物は虫や木の実に、木の枝や葉の裏をくちばしでつついて探す。また、**自然が豊かでないと住むことができないので、この鳥がいる場所は環境が良いと言えるんだ。**まちのなかで空を見上げて、ぜひ、この鳥をさがしてみよう!

「おもはらの森」が生きものにとって大切な場に?

明治神宮や代々木公園といったミドリにかこまれた場所にある「おもはらの森」を知ってる? 「東急プラザ表参道(オモカド)」というたてものの屋上にある庭園で、ここは生きものにとって小さな楽園なんだ。この場所は、**都会の中でも生きものが安心して暮らせるように工夫されていて、ミドリがたくさんあり、シジュウカラのための巣箱も置かれているんだ。**



シブヤにシジュウカラの巣箱を置いたワケ

東急不動産がシブヤのまちにシジュウカラの巣を置いた理由は、まちの中に自然を取り戻し、生きものと人間と一緒に暮らせる環境をつくるため。人が心地よく暮らせる場所だけでなく、**生きものすべての住み心地を考える会社になりたい**という想いでこのプロジェクトを始めた。シジュウカラの巣箱は全部で9種類あって、スギやヒノキ、ヒバなどさまざまな木が使われている。かたちも四角や丸いかたちなどいろんなパターンがあっておもしろいよ。



シブヤのどこに生きものが住んでいる?

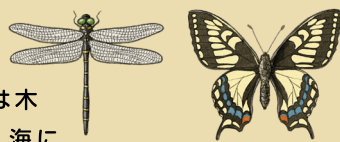
シブヤはにぎやかなまちだけど、実はいろいろな場所に生きものが住んでいる。たとえば、公園や緑地にはシジュウカラやスズメ、チョウやトンボがいる。ビルの目の前にある大きな木のねもとにはアリやダンゴムシが隠れていることもある。また、ビルの壁につくられたミドリのカーテンや屋上庭園には、虫や小さな鳥が集まる。特に「おもはらの森」のようなミドリ豊かな場所には、**たくさんの生きものが住んでいるんだ。**

まちとシジュウカラってどんな関係なの?

まちのなかの自然がどれだけ元気を調べるために、東急不動産は「生物モニタリング」という調査を10年以上続けている。2012年から2019年までの調査結果では、鳥は22種、昆虫は151種も観察されているらしい。**自然を考えた開発が生きもののシブヤエリアの環境にもよい影響を与えていることが分かっている**そう。オモカドのある神宮前交差点は、明治神宮や代々木公園から神宮外苑などの大きなミドリをつなぐ、自然の中継点としてとてもいい場所にあるんだ。そこにある「おもはらの森」にはたくさんのチョウやトンボ、そしてシジュウカラが飛んできて、エサを食べたり、休んだりしている。シジュウカラは自然が豊かでないと住むことができない鳥なので、**シブヤは大きな都会だけど、まちのなかの自然はきちんとあるということ。**シジュウカラは、まちの自然が豊かかどうかを調べるために、とても大切な存在なんだ。

「セイブツタヨウセイ(生物多様性)」ってなんだろう?

生物多様性とは、いろいろな生きものたちがおたがいにつながりながら生きていること。たとえば、森には木や草、虫、鳥、動物がいて、海に



は魚やサンゴ、貝などがいるよね。これらの生きものたちは助け合いながら生活している。木は鳥に実を食べてもらうことで種を遠くに運んでもらい、鳥は木の実を食べて元気に育つ。このように**たくさんの生きものがあるおかげで、自然はバランスをたもち、健康でいられるんだ。**生物多様性が豊かだと、人間も安心して暮らせる環境が守られる。だから、人が生きものたちを大切にすることが、地球を守ることにつながっていくんだよ。

ココでクイズ!

Q

シブヤにはどんな生きものが住んでいるのでしょうか?

答え

東急不動産が生物モニタリング調査をしたところによると、鳥は、カワラバト、ハシトガラス、スズメ、メジロ、セキレイなど。ほかにも、アキアカネ(トンボ)やウラギンシジミ(チョウ)などたくさんの生きものが住んでいた! シブヤは大会場だけど、人間だけでなく鳥や昆虫の暮らしの場所なんだ。

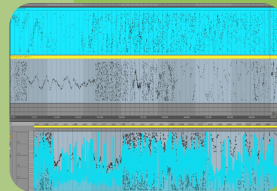
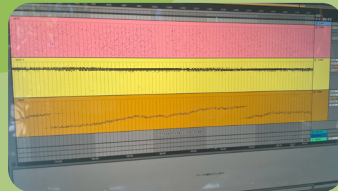
シブヤで 植物の謎にせまろう！

「渋谷区ふれあい植物センター」に行ってみた。

日本一小さな植物園がシブヤにあることを知っている？
実際に足を踏み入れて、たくさんの「フシギ」を見つけてみよう。

植物から音楽がつかれる？

この植物園で一番おどろいたのが、植物たちがかな
でる音楽を聞ける小部屋「Music of plants./
ミュージック・オブ・プランツ」があること。この日はパイ
ナップとジャボチカバというフルーツの木による音楽が聞
けたよ。とてもキレイな音で心がおだやかになるのを感じた。実
はこれ、松坂大佑さんというサウンドデザイナーの作品。植物が出
している電気(生体電位)をとりだして、それを音階に変える。それを
ミックスしてサウンドスケープ(音の風景)として表現しているんだ。少
しむずかしい仕組みなのだけど、「動かない植物にもいのちの
動きがあって、人がそれを感じることで地上の生きものと
してよこびあえるきっかけになれば」という松坂さ
んの想いを聞くと、なんだかもっと植物の声を聞いて
みたくなった。



葉っぱの内部に流れる小さな電気を専用の機
械で採りだしたデータ。これを音階に変えてい
く。フシギなことに、光や気温といった周囲の環
境が変化すると電気も変化
するんだ。ということは、同じ
植物でも夏と冬では違った
音楽になるのかもしれない。

バナナが実をつける時期は、葉っぱの数で見わかる!?

バナナは大きくてまるで木のように見えるけど、実は高
さ2～10メートルの多年生の「草」なんだ。木のよ
うに見える部分はやわらかい葉が重なり合っ
てきている。そして、その葉っぱの数が40枚を超
えると花が咲いて実が出てくる。だからこの植
物園では葉っぱがでてくるたびに番
号をふっている。そして、バナナ
の実って最初は下の方を向
いているけれど、だんだん
太陽の光に向かって上に曲
がって成長していくからあ
の形になるんだ。



これは何の実だろう？

木の幹から直接ニョキッと生えて
いるこの実、なんの実かわかる？
みんながきつと大好きな甘～い食
べものの原料となっている実だよ。
そう、これはチョコレートやココアの
原料として使われる「カカオ」。このカカ
オポッドと呼ばれる小さな実がやがて15～
30センチほどのラグビーボールのような大
きさに育つ。このカカオポッドを割ると、なか
には果肉部であるカカオバルブと、種子であ
るカカオ豆が入っている。チョコレートはこの
両方を使って作られているんだ。



太陽がなくても野菜は育つ？

植物園の奥にレタスがたくさん並べられた、ムラサキ
に光る部屋があったのだけど、なんだと思う？ これ
は水耕栽培(すいこうさいばい)といって、土を使わ
ずに水と液体の肥料だけで植物を育てる栽培方法な
んだ。太陽の代わりにLEDで光を当てることによ
って、一般的な栽培と変わらない野菜が育つらしい。さら
には、LEDなら太陽と違って天気
に左右されることがないし、野菜の
成長が早い。しかも栄養価も高いという。



昔、シブヤが茶畑だったってホント？

イベント時以外は一般の人は入れないのだけど、特別に屋
上を見せてもらうとたくさんの植物が育てられていた。写真
はお茶の苗木なんだ。明治時代、シブヤの松濤(しょうとう)
エリアでお茶の栽培が始まって、周辺一帯にはたくさんの茶
畑があったらしい。なんとスクランブル交差点にも大きなお
茶屋さんがあったのだとか。植物園にある苗木は
鍋島松濤公園で育てられていた「渋谷茶」
で、これから「渋谷茶」を復活させようとさ
まざまな取り組みが考えられているとい
う。どんな味が、とっても気になる！



「渋谷区ふれあい植物センター」へいこう！

渋谷駅と恵比寿駅のちょうど真ん中にあるこの植物園は、ガラス張りのたてものが目印。もともと20年
前から植物園だったのだけど、2024年に「食と農の地域拠点」としてリニューアルオープンしたんだ。
植物の魅力を知るためのイベントがたくさん開催されているし、有機野菜を使ったおいしいピザやハン
バーグが食べられるレストランもある。地域の人の家庭で出た生ごみをたい肥にするコンポストが設置
されていたり、野菜の販売もしているから、近所の人がふらりとおとすれる楽しい場所になっている！
東京都渋谷区東2丁目25-37 電話 03-5468-1384

Photo/Yukiko Soda

誰でもできる！ 食べものを「ジュンカン」させよう。

新しい「土」と「肥料」がカンタンにつくれる「コンポスト」って知ってる？

原宿駅近くの原宿外苑中学校では、コンポストで肥料を作る活動を続けている。
コンポストのおもしろさやフシギさについてどれだけ知ってる？

コンポストって なんだろう？

食事の残り物や料理の途中で
でた生ゴミなどを土に埋め、栄
養たっぷりの肥料をつくる容器のこ
とをコンポストと呼ぶ。土のなかでは小さな
微生物たちが生ゴミを少しずつ分解してくれ、たい
肥と呼ばれる栄養になるんだ。まずは、微生物が分解
しやすいように生ゴミを細かくしておき、水気をきる
こと。あとはその生ゴミを土の中に入れて、かきまぜ
るだけ。そして、太陽や空気によって微生物のはたら
きがよくなり、生ゴミの分解が進んでいくんだ。

1 モリモリ食べる



おいしい給食!だけど、調理の時にも生ゴミはでてしまうし、誰
かが残してしまった食べものも生ゴミとして捨てなければなら
ない。そこで原宿外苑中学校ではこの生ゴミをコンポスト
に埋めているんだ。コンポストに埋めた生ゴミが栄養となっ
て野菜を育て、また給食になっていく。こうして、食べ物がぐ
るぐるまわってジュンカンすればゴミを処理する手間やエネ
ルギーを減らすことができ、地球にやさしいということに。

コンポストに チャレンジする時の注意点!

一度に大量の生ゴミを入れてしまうと虫
が発生しやすい。また、虫の発生を防ぐた
めにネットを張るなどの方法もありだ。

Beautiful Food Cycle! めぐる、食べものの輪

4 肥料としてつかう

コンポストをきちんとお世話してあげると、2週間から
3ヶ月で、最初は目に見えていた生ゴミがすっかりなく
なっていることに気づくだろう。全部、栄養として土に
かえったわけだ。こうしてできたたい肥は、新しく作物
を育てる時に大切な栄養となる。原宿外苑中学校では
このたい肥で育てた野菜を給食に利用しているんだ!

2 コンポストに埋める

生ゴミをゴミとして捨てずに、コンポストへ入れる。土
の中にはミミズや小さな菌類などもいて、こうした小さ
な生きものたちも生ゴミをゆっくり食べてくれる。生ゴ
ミがどんどん増えたらこうした生きものの数もどんど
ん増えてきて、分解もモリモリ進んでいくというわけ。

3 土と一緒に育てる

生ゴミを分解してくれる小さな生きものたちを元
気にするため、コンポストには太陽が必要だし、
空気が必要だ。空気にふれると小さな生きものた
ちはどんどん元気になって、分解の力も大き
くなっていく。だからコマメにスコップなどで掘り
起こしてあげるなど、お手入れが大切なんだ。ま
た、小さな生きものたちを元気にするため、落ち
葉や米ぬかなどをコンポストに入れるといい。

ココでクイズ!

Q

コンポストは自宅でも
挑戦できるでしょうか?

答え

自分の家でもコンポストはできる!「コンポスト」と
して売っているものを買ってきてもいいし、ダンポー
ルなどを利用して自分でつくすることもできる。家の中
で使えるものもあるので、庭がなくても問題なし!

渋谷区立原宿外苑中学校のとりくみ
～原宿外苑中学校はゴミが少ないのだ!～

「原宿外苑中学校では、このコンポスト活動を2年ほど前から始め
ました。中学生の希望者だけでなく、地元の方やコンポストに詳しい
方がみな一緒になってたい肥づくりを行っています。コンポスト活動
を始めてからは学校から生ゴミを捨てる必要がなくなったんです」。
こう話してくれたのは駒崎彰一校長先生。コンポストとかがわること
で自然のジュンカンについて学ぶことができたり、なるべくゴミを出
さないという気持ちが強くなるとか。コンポストっておもしろい!

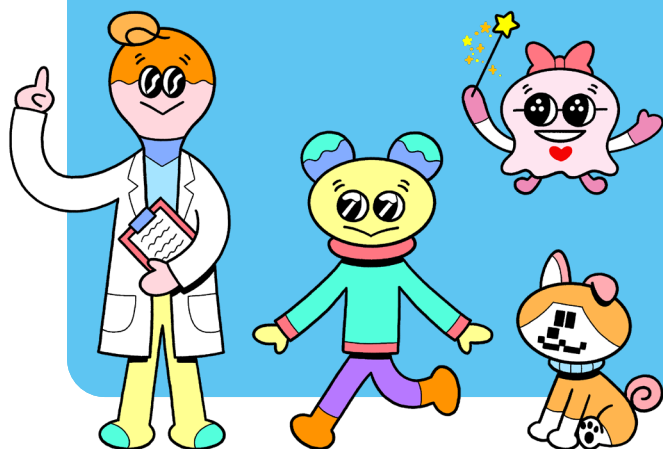
渋谷区の小中学生のあたらしい学び 探究「シブヤ未来科」がはじまってるよ!

渋谷区が2024年から区内の小中学生向けにスタートした「シブヤ未来科」は、ひとりひとりの興味、関心にもとづきとことん学びに没頭
できる新しいプログラム。東急不動産をはじめ、たくさんの会社が協力して、子どもたちがワクワクする学びの場を提供してくれている。

楽しみながら、自分で考え、自分で学ぶ!

探究「シブヤ未来科」は、渋谷区が未来を生きる子ども
たちのために始めた取り組みだ。このプログラムでは、
未来のまちや社会がどうなるのか、自分たちがどんな
役割を果たせるのかなど、多様なテーマで楽しく学べ
るよ。たとえば、ロボットやAIの技術が進んだ未来の
まちはどんな風になる?とか、環境に優しいまちづくり
にはどんな工夫が必要?とか。そんな疑問を、実験や

ワークショップを通じて解決していくんだ。「シブヤ未来
科」は、ただ勉強するだけじゃなく、自分で考えたり、友
達と話し合ったりする時間がいっぱい。未来のまちを作
るのは、きみたち次第。楽しみながら、未来のシブヤを
一緒に考えてみよう。まちづくりが得意な会社、東急不
動産も子どもたちに「まちの未来」を考えるヒントをた
くさん提供している。実際にまちを歩いて観察したり、
グループで未来のまちの模型を作ったりする活動など
もあって、みんなで協力しながら学べるのが魅力だ。



グリーンアップ?クールダウン?

Development

シブヤのまちには「ミドリ」と「すずしさ」が必要なんだ!

シブヤのまちを「ミドリ」と「すずしさ」でいっぱいにするプロジェクトが始まっている!
まちを元気にするための楽しい取り組みを紹介していこう。

ココでクイズ!

Q1

答え

「シブヤ グリーンアップ
クールダウン プロジェクト」って
どういうもの?

東急不動産はみんなと協力して、シブヤを「行ってみたい、住んでみたい、ココチイ」場所にしようとしているんだ。ミドリを増やすだけでなく、ミツバチを飼ったり、菜園を作ったり、生きものについての勉強会やイベントなんかも行うよ。あと、真夏でもすずしく過ごせる場所を作って、シブヤをもっと過ごしやすいと考えている。 いろんな人と一緒に、人も生きものも気持ちよく過ごせるまちにしよう! という取り組みなんだ。

ココでクイズ!

Q2

なんでシブヤに「生物多様性」が
必要なの?

答え

シブヤには多くの人がやってくる。だからそこでこの取り組みを知ってもらうことがとても大事なんだ。生物多様性とは、いろんな生きものがつながり合って生きていること、それで自然はバランスを保っている。まちが人にとって便利になるにつれて、木や草や水辺がなくなり、生きものたちのすみかがへってくる。たてものにも生きものたちが休けいできる場所を作ること、自然と人が仲良く暮らせるようにしているんだよ。

ココでクイズ!

Q3

ビルやマンションの「屋上緑化」
ってどういうもの?

答え

屋上緑化とはビルやマンションの屋上で植物を育てること。これにはいろんなメリットがあるよ。植物が増えると、植物がフィルターみたいなにはたらくて空気がキレイになるんだ。それに夏の暑さをやわらげてくれる。そして、見た目もすごくキレイ! 屋上がミドリでいっぱいになると気持ちのリフレッシュできて、ストレスもへるよ。だから、みんながもっと楽しく過ごせる場所になるんだよ。どう? 屋上緑化、なんだかワクワクしない?



ビルの屋上が鳥たちの休む場になる!

ビルの屋上にミドリを増やして、鳥や虫が休んだり、そこにくる人に気持ちのいい場所を作っているよ。

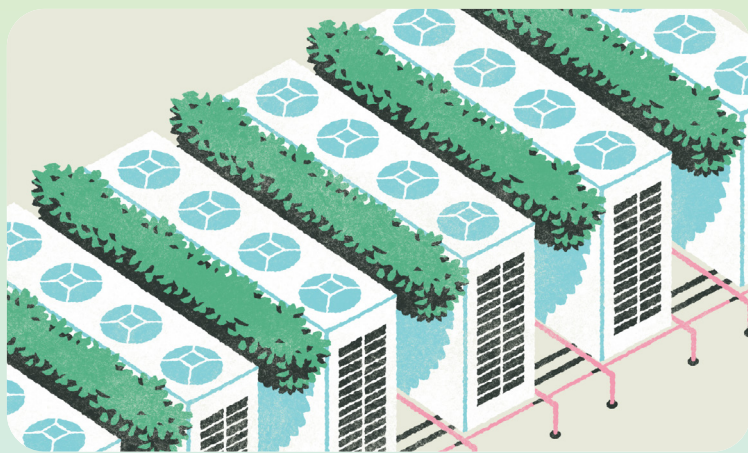
シブヤのエリアではこんな取り組みがはじまってる!

① サツマイモでシブヤをグリーンに!

「芋緑化」とは、ビルの屋上でサツマイモを育てることなんだよ。実はサツマイモはすごい植物で、**サツマイモの葉がエアコンの室外機の周りをすすくして、エアコンの効率を上げるんだ**。それで電気代も下がるし、サツマイモが成長する中で二酸化炭素も吸収してくれる。さらに、秋にはおいしいサツマイモを収穫できるんだよ。都会のビルでも自然を楽しみながら、省エネもできるなんて素敵だよな。

サツマイモがビルの屋上で育つしくみ

バケツほどの大きさの布袋に土とサツマイモの苗を入れ、空調室外機の間にたくさんつるして栽培する仕組みだ。水や肥料は自動的にサツマイモへ送られる仕掛けなので、手間もかからない。サツマイモの葉っぱが室外機のまわりに日かげをつくるなどの効果もあって、エアコンの電気代も少なくてすむというわけ。



芋緑化は、日建設計と住友商事が共同で開発した技術で、空調設備のエネルギー削減を目的とした取り組み。

② 大都会の真ん中で ミツバチと仲良くなろう!

東急不動産のいくつかのビルの屋上では、ミツバチを育てる取り組みを行っている。たとえば渋谷区のおとなりにある港区のビルの5階には3万から4万匹ものミツバチが住んでいて、最近では170kgものハチミツが採れたという。ミツバチは、花から花へ飛び回ってミツを集めるだけでなく、植物の受粉も手伝ってくれる。これで、植物が元気に育ち、たくさんの実がなるというわけだ。そうすると、またほかの虫や鳥たちも集まり、まちがどんどん元気にっていくんだ。



③ 屋上で野菜づくりを 楽しむ「ベジスマ」

「ベジスマ」とは、ビルの屋上で野菜を育てる活動のことなんだ。サツマイモだけでなく、とうもろこしやぶどう、スイカ、ホップなど50種類以上の野菜やくだものを作っているそうだ。さらには、サツマイモやビールの原料となるホップを使って、サツマイモチップスやクラフトビールも作ったんだ。このチップスやビールは、そのビルのテナント(ビルを借りている会社)の皆さんにも配っているんだって。



④ シブヤのあちこちに、 すずしい場所 「クールスポット」が登場!

「クールスポット」とはまちなかにすずしい場所をつくること。エアコンで有名なダイキンという会社などと、一緒に取り組んでいるんだ。これは、暑い夏の日にみんなが熱中症にならないようにするための大切な取り組み。まだ始まったばかりだけど、今後もシブヤのあちこちにクールスポットを増やしていく計画があるらしい。楽しみだね!

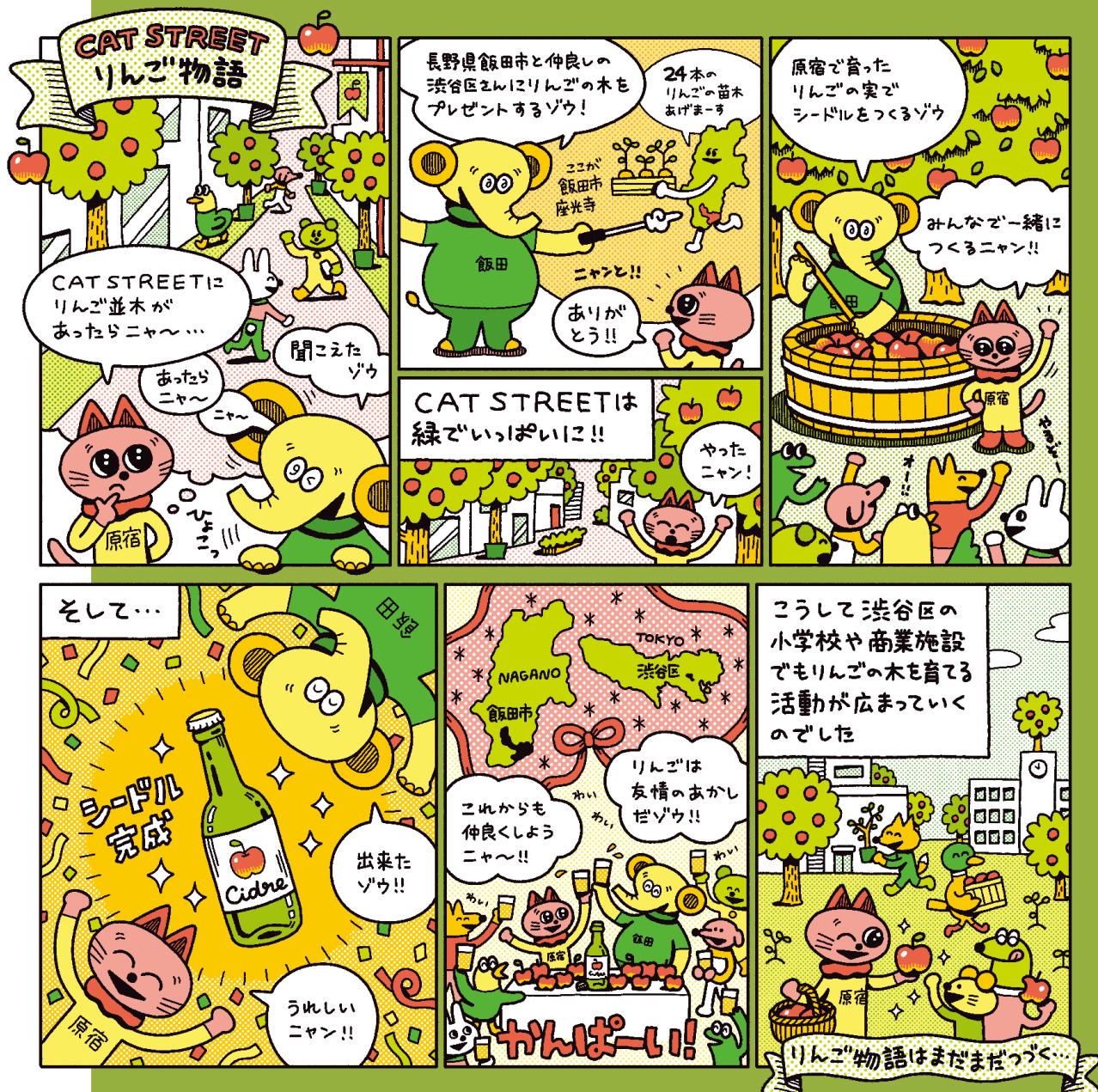


原宿はミドリのみち!?

りんごの木から生まれた「友情」ものがたり

都会のまんなかで育つ果物。そこからできる美味しい「飲みもの」って？

おおぜいの人でにぎわう原宿のキャットストリートにもりんご並木があって、この地域に住む人々みなでお世話をしているという。実はこのりんご並木、まちとまちの人たちの友情によって生まれたものなのだ。



りんごの木を通じて 人と人がつながる!

原宿のりんごの木は、渋谷区原宿の町内会の人たちと、「りんご並木」をまちづくりのシンボルにしている長野県飯田市座光寺(ざこうじ)の人たちの交流によって植えられた。2010年頃、座光寺のりんご並木を見た原宿の町内会の人たちが、**キャットストリートにもりんご並木をつくりたい**とお願いしたことからはじまり、おくってもらった24本の苗木を育てたらすくすくと実がなったというわけ。せっかくりんごが実ったんだから、りんごのお酒「シードル」を「一緒につくろう!」と両地域の人たちが盛り上がり、原宿生まれのシードルも完成した。シードル完成の記念として毎年「アップルロードマーケット」というイベントも開催されている。これは、座光寺の人たちはもちろん、毎日、りんごの木のお世話をしているおじいさんやおばあさんなど、地域の人がたくさん参加する素敵なイベントなのだ。最近では、このプロジェクトによって生まれたシードルをもっとたくさんの人に知ってもらいたい、飲んでももらいたいという想いから、「NEUTON (ニュートン)」という商品も販売された。そしていま、りんごの木は渋谷区の小学校や商業施設など、たくさんの場所に広がって、それぞれの場所で大切に育てられている。大都会の真ん中でもおいしいりんごが育つなんて、なんだかちょっと驚きだ。

原宿のりんごの木からできたシードル

原宿のりんごは甘さと酸っぱさのバランスがいい「ふじ」という品種。このりんごを使って誕生したのがりんごのお酒「シードル」だ。左は最初に作られた「座光寺×表参道シードル」。右は、原宿エリアで地域活動をしているCATsの中村元気さんとNEUT Magazineという雑誌が協力してできたシードル「NEUTON」だ。



りんごの木の物語を伝える人

中村元気さんは、渋谷エリアでのゴミ拾い活動をはじめ、地域に住む人たちが居心地がよくて、自分たちのまちをもっと好きになれるような取り組みを続けている人。原宿の植物のお世話をしていたことがきっかけでりんごの木プロジェクトのことを知り、「NEUTON」をつくったんだ。

ココでクイズ!

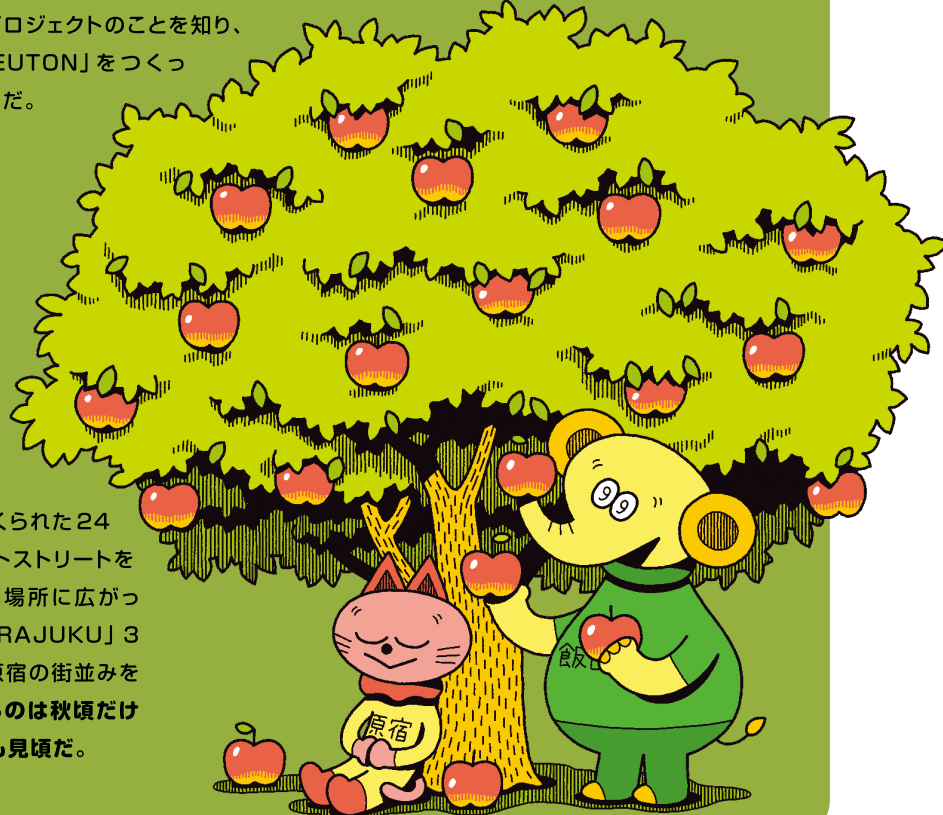
りんごの木には
何個の実がなるでしょうか?

答え

りんごの木に実るりんごの数は、木の大きさや年齢によって変わる。小さな木なら10個くらい、大きな木だと100個以上の実がなることもある。ちなみに、りんごの種類は日本では約2000、世界では15000もの種類がある。

原宿のりんごの木を見に行こう!

2010年に、飯田市座光寺からおくられた24本のりんごの苗木は原宿のキャットストリートを中心に渋谷区エリアのさまざまな場所に広がっている。原宿駅前の「WITH HARAJUKU」3階パークではりんごの木とともに原宿の街並みを見渡すこともできる。りんごが実るのは秋頃だけど、白くてかわいい花が咲く5月も見頃だ。



シブヤのミドリを探しにいこう！ SHIBUYA ミドリの探検

自然を感じられて気持ちいい!そんな渋谷区周辺のおすすめスポットをめぐってみよう。

大都会のシブヤで、ミドリを探しに出かけてみない?今回の「シブヤ ミドリ タイムス」で紹介した場所にもぜひ、行ってみて。



シブヤにはミドリがたくさん!自分だけのミドリを探しに出かけてみよう!

- Ⓐ 東急プラザ表参道「オモカド」**: 心地いい屋上庭園がある。シジュウカラやアオスジアゲハなど生きものもたくさん! **Ⓑ 東急プラザ原宿「ハラカド」**: 屋間は都会のオアシスのような屋上テラス **Ⓒ キュープラザ原宿**: 2階と3階には緑豊かなテラスがあって休けいにも最適! **Ⓓ 代々木公園(神南一丁目地区)**: スケートボードができる屋外アーバンスポーツパークや天然芝のにぎわい広場などがオープンし、1日中おもいっきり楽しめるミドリの楽園がさらに充実! **Ⓔ 明治神宮**: 都心とは思えない広大な森。ケヤキやエノキなどの巨大な木々、お花やきのこ、鳥や虫、魚など、驚くほどの命と出会う **Ⓕ 明治神宮外苑**: 東京でも有数の黄葉のスポット。約300mのイチヨウ並木は毎年、秋に黄金に輝くようなトンネルとなる **Ⓖ ウノサウ東急ビル**: 屋上では芋緑化システムで脱炭素と生物多様性に貢献。時折、イベントも開催 **Ⓗ 渋谷フクラス**: 東急プラザ渋谷17階にはスクランブル交差点などまちの風景を眺められる「SHIBU NIWA」が。木々に囲まれた居心地の良い場所でくつろげる **Ⓘ 渋谷ソラスタ**: 屋上空間には渋谷のまちが一望できる緑豊かなスカイテラスが **Ⓙ Shibuya Sakura Stage**: 「はぐくみ STAGE」では生い茂る果樹、菜園や大きな山桜に出会える。大都会のど真ん中であって緑あふれる貴重な屋外広場だ **Ⓚ Forestgate Daikanyama**: 「CIRTY」は緑に包まれた美しいカフェ。内部では環境にまつわる本が並ぶライブラリーも **Ⓛ WITH HARAJUKU PARK**: 3階には大きく開けたテラスがあり、鮮やかな木々に囲まれながらのんびりでき、公園のような雰囲気 **Ⓜ 渋谷区ふれあい植物センター**: 今号の誌面で紹介した「MUSIC OF PLANTS」をはじめ、水耕栽培について学べる「Farm Lab」など、植物の不思議に迫れる **Ⓝ 稲田キャットストリート**: 通りのところどころにある花壇には、地元の方に育てられている食べられる植物がたくさん。そんな緑を探しながら歩くのも楽しい **Ⓞ スプライン青山東急ビル**: 今号でも登場したミツバチの飼育場所を提供

渋谷区の小学生が楽しむ 「探究学習」ってなに？

「なぜ」「どうして？」から色々な大人と一緒に学びを探究する！

渋谷区では、地元の企業などと協力して、区内の小・中学生向けに楽しい学びの場を提供している。それが、「探究 シブヤ未来科」だ。そのなかには、教室を出て社会のしくみや都会の自然などについて、楽しみながら学べるものもある。どんなものか、見てみよう。

「こども社会体験科 しくみ～な®」

世の中のこと、シゴトのことが
わかる楽しい時間！



プログラム実施のようす /
実施：渋谷区立 加計塚小学校

「地球ひとつで暮らすワークショップ」

地球を守るため、やるべきことは何か？
を学んで考える時間！



ワークショップ実施の様子 / 実施：渋谷区立猿楽小学校

「シブヤ未来科」のなかで行われるプログラムのひとつがこの「しくみ～な®」。株式会社日本総合研究所という会社が中心となって体育館にまちをつくったんだ！まちや社会がどうやって成り立っているかを、楽しみながら学べるんだ。例えば、東急不動産という会社の社員になったとしたら、「環境に良いマンションづくり」のお仕事を体験する。土地を選んだり、マンションでできる環境に良い工夫を考えたり。銀行やIT、小売、役所の仕事など、みんながそれぞれ違う役割を担当。友だちと協力しながら仕事を進めることで、社会や経済の仕組みがわかってくるというわけだ。

みんなが住む地球をまもるために、いま地球がかかえる問題を学び、どんなことができるかを楽しく学べるプログラム。TENOHA 代官山は猿楽小学校の近くにあり、環境や生きものにとってよいアイデアがいっぱいつまった場所。実際のたてものにクラスで訪れて、環境に優しい工夫についてたてものを作った東急不動産の人に教えてもらった。そして教室に戻って、学校ではどんなことが取り組みそうかをみんなで考えた。例えば、給食の食べ残しをどう減らすかとか。都会の自然について学びながら、地球の未来を守るためのヒントを見つけていったんだ。

地球について学べる、おすすめ絵本

絵本のじかん

ここでは、子どもはもちろん、大人も楽しめる絵本を紹介。毎回、「シゼン」「マチ」「ミドリ」「チキウ」といったテーマで絵本を選んでいくよ！

かこさとしさんを知っているだろうか？『だるまちゃん』シリーズの絵本が有名だけど、実は東京大学工学部応用科学科を卒業した工学博士なんだ。ここでは以前、かこさんが手がけた絵本『みずとはなんじゃ』を紹介しよう。この本は、水の不思議な世界をやさしく教えてくれる一冊。水って、ただの透明な液体じゃない。雲になったり、氷になったり、雨になって大地をうるおしたり。忍者のように姿を変えながら、私たちの生活を支えてくれる。この絵本はそんな水のひみつを、かわいいイラストとわかりやすい言葉で伝えてくれている。



『みずとはなんじゃ』
作 かこさとし / 絵 鈴木まもる (小峰書店)